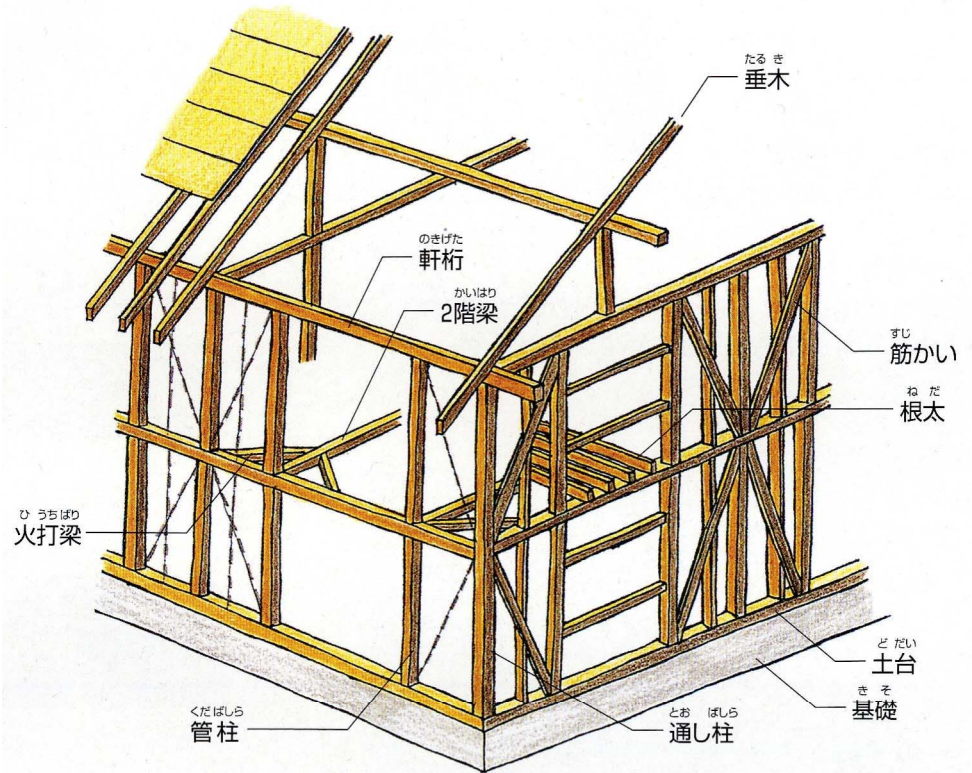


2 骨組

木造住宅は、丈夫な布基礎の上に土台、柱、桁、梁で造った骨組に筋かいなどの斜材を入れたり、合板等を張ったりして耐震的な構造にします。

木造在来軸組構法



3 建物の形

建物の平面及び立面の形状は地震力が建物の全体に平均的に伝わるように、なるべく単純で、まとまりのよいものにしましょう。

でこぼこの多いもの、細長いものは被害を受けやすくなります。

平面が凹型の建物は耐風上からも不利となり、雨漏りを生じやすくなります。

特に増築した部分は接続部分で亀裂が入るなどの被害を受けやすいので、十分な補強をしてください。

立面的にも建物に高低差があるなど建物の重さに偏りがあると基礎に対する上部の重さの違いから不同沈下を起こしやすくなりますので注意してください。

